

## 「2年生・アジサイの散歩」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私が勤務する小学校は、大学構内の一角にあって、四季折々さまざまな樹木が花を咲かせている。特にアジサイは、入園料か拝観料をとって「名所」にしてもいいほどである。梅雨入り前の今の時期は、さまざまな種類・色のアジサイが満開になっている。



「大学構内のアジサイの道」

これは附属小学校から附属中学校へ向かう歩道。



「ガクアジサイ」

このアジサイは、株数は少ないが非常に美しい。

今日、2年の担任がアジサイを見に、子どもたちを連れていくというので、私も一緒に参加した。私はてっきり画用紙と画板を持って、外でスケッチをするのだと思い、自分も画材を持ち出したら、子ども達は皆手ぶらであった。この活動のねらいは・・・

- ①いろいろな種類・色のアジサイをよく見る。
- ②梅雨の季節に、歩きながらアジサイを楽しむ。
- ③自分たちが気に入ったアジサイを、1房選ぶ。



子どもたちは一通り、アジサイを楽しんだあと、ファミリー（班）に1房ずつ、気に入ったアジサイを選ぶ相談をした。あーだこーだ言いながら、すいぶん迷っていたが、歩きながらすでに相談していたようで、どのファミリーも目星をつけていた。選んだ房は、担任が枝ごと切り与えた。



「大きな房のアジサイ」ファミリーそれぞれに選んだ理由がある。「大きい」「色がきれい」「珍しい(?)」このファミリーの理由は、「2色できれいだから」。

子どもたちは、大きな房の立派なアジサイに大喜び。「誰が持って運ぶか」で大いにもめ事が起きていたが、皆、大切そうに教室に持ち帰った。(つづく)